

2015 年 10 月 25 日 「特別メッセージ No.35」 徳野英治会長

本日は、徳野会長の特別メッセージの視聴でした。以下にメッセージの全文を掲載いたします。

<徳野会長特別メッセージ>

[1]「世界平和統一家庭連合」出帆記念大会

(陽暦) 10 月 12 日、「世界平和統一家庭連合出帆記念大会 (以下、記念大会)」が盛大に開催されました。その内容を中心に、5 つの大きな項目でお伝えします。1 番目の項目です。1997 年 (陽暦) 4 月 8 日、天の摂理の進展に伴い、真の父母様は、教団の名称を「世界基督教統一神霊協会」から「世界平和統一家庭連合」に変更することを宣言されました。日本においても、去る 8 月 26 日に所轄官庁の文部科学省文化庁から名称変更の認証を受け、9 月 1 日、マスコミにも公表しました。

家庭連合の出発に際して強調したい第 1 点は、今まで以上にコンプライアンス (法令遵守) の精神に基づき、社会から信頼と尊敬を受ける宗教法人となることが願われているという点です。

第 2 点は、神氏族メシヤの勝利です。そのためには、私たちが真の父母様の勝利圏と伝統を相続する真の家庭となり、理想家庭の模範を示していく責任が伴うということです。

[2]「記念大会」を視聴された真のお母様

2 番目の大きな項目は、真のお母様は天正宮博物館で記念大会を中継で視聴され、とても喜ばれたということです。そして、「日本はこれからたくさん良いことが起きるよ」とおっしゃったそうです。

[3]「記念大会」に対するメディアの反応

3 番目に、記念大会にメディア関係者を招待しました。その方たちの感想を一部紹介します。

「文善進世界会長はとても聡明な方ですね。さすがにハーバード (大学) 出身だけありますね」「パフォーマンスが洗練されていて立派でした。プログラムを見ながら、この教団もジュニアの時代になったんだなと感じました」

[4] 正しい「真の父母観」の確立を

4 番目です。希望ある家庭連合を出発しましたが、一面においては郭グループ、サンクチュアリ教会グループなどの分派の問題も現実起きています。それに関する対策的な必要性において、正しい「真の父母観」の確立が願われます。以下、4 つのポイントに絞ってお伝えします。

①「メシヤ」と「真の父母」の概念の相違点

第 1 のポイントは、「メシヤ」という概念と「真の父母」という概念の明確な相違点です。

アダムの失敗を蕩滅するために来られたイエス様の 1 つの目的は「小羊の婚宴」、すなわ

ち、天の父母様（神様）を中心とした真の家庭（家庭的四位基台）を築くことでした。しかし、それがかなえられずに再臨を約束されました。

再臨主である真のお父様は、1960 年陰暦 3 月 16 日（陽暦 4/11）、「小羊の婚宴」を天にお捧げし、家庭的四位基台を勝利されたのです。それゆえにお父様は、「メシヤ」であるばかりでなく、「真の父母」というワンランク上の位相に上げられたのです。

残念ながら分派の人たちは、お母様を立てられたことが、お父様の最大の勝利圏であり、それが偉大な実績であることを理解していません。

②父母様の実体は一体不可分・分離不可能

第 2 のポイントは「真の父母」の概念です。お父様とお母様は、霊界と地上界に分かれていても、心情的、霊的に完全一体でいらっしやり、分離することはできないということです。お母様も、お父様なくして、お母様の価値も勝利圏ありません。お父様も同様です。お二人は一体不可分・分離不可能の状態であられるのです。

③誰よりも真のお父様をご存じの真のお母様

第 3 のポイントです。お父様と 52 年間、寝食を共にして過ごされたのは、お母様だけです。他のいかなるお弟子さんや真の子女様よりも、お母様ほど、お父様の心情をご存じの方はいらっしやいません。お母様の全ての行動の動機の原点に、お父様がいらっしやることは間違いありません。お母様の中にあるのは、地上に実体的天一国を実現するという、お父様の遺業を成し遂げてさしあげたいとの一念だけです。

④全祝福家庭が学ぶべき『真の父母経』

第 4 として、このたび出版された『真の父母経』は、父母様を正しく理解する上で決定的な経典です。その訓読を通して「真の父母観」を正しく身につけ、分派から心身を守り、摂理の主流・本流の道を歩んでいただきたいと思います。

[5] 文妍娥様のメッセージ

5 番目の大きな項目として、文妍娥様が 10 月 9 日に来日され、印象的なメッセージを語られました。妍娥様ご自身、孝進様を霊界に送られたあと、大変な内的試練を通過されました。徐々に心情的に落ち着くことで、お父様を霊界に送られたお母様のお立場を研究されるようになったそうです。

お母様の深い心情世界を理解するためには、まずはその心情圏、そして、お母様を取り巻く摂理的な事情圏や、その願いまでも理解した立場に立つてこそ、お母様と一体となり、お母様を通してお父様と完全一体となって、父母様の願いを悟ることができるのだと言われます。

最後に、生前のお父様のみ言を紹介します。

「お母様を中心として皆さんが一体になっていかなければならない時が来ました。もう先生がいなくても、お母様が代わりにできる特権を許諾したということです。お父様がいなくても、お母様のことを思わなければなりません。そのように理解して、先生の代わりにお母様に侍る心を持ち、祈禱もそのようにするのです」（『真の父母の絶対価値と氏族的メシヤの

道』116頁)

このようにお父様は、霊界に行かれる前に、ご自分が霊界に行かれたあとの、お母様の使命と価値の重要性について強調されています。

お父様から受けた多くの恩恵に対して私たちは、お父様と完全一体となっておられるお母様を心から慕い、お支えしていくことが、お父様への最高の恩返しであると考えます。お母様と一体となり、ビジョン 2020 と天一国創建を勝利するため、新しい世界平和統一家庭連合の名のもとに、記念大会のスローガン「幸せな家庭 躍動する日本 希望の世界へ」の精神で再出発してまいりましょう。

(以上 KMS「中和新聞」より転載)